

おかげさまで23年経ちました

花屋香彩。は23年目を迎えました。自分自身も30年以上花屋さんで働き、経験や技術、知識も蓄えてしまっただけで、たかでも知られませんでした。だからその勉強や努力が必要だとも感じていますよ。年齢的な若さを人は気にしなくても、心が素直で純粋



若さ大切に！

香彩。新聞

編集
気持ちは
若い男

にいたら何をしても面白く感じれると思えます。若いスタッフといると勉強にもなりますし、自分のその時よりも上手だったり、優しかったりします。経験があるからと頭ごなしに諭すより、今後の関係性やお互いの信頼関係を大切にしたいものです。お花というギフトは難しく、繁忙期にはなかなか良い物が少ない傾向にあります。もらった人のお花に対する知識や優しさ、時期、注文のタイミングなどによりも変わります。初めての事のようにお花を楽しみ、優しく接し心を若くお花を見て可愛いと純粋に思ってもらえたら嬉しいですよ。

母の日の花屋さんの忙しさは何となく想像出来るのですが、その何倍も忙しいかもです。その原因のひとつに駆け込み注文が多いためです。気軽な存在のお花屋さんですが、実は多くの企業様からのご注文や普段のお祝い、お悔やみのお花のお手伝いもあり、そこに母の日2、3日前より殺到する事により制作や

配達、伝票などの作業が終わらない数日間が始まります。ゴールデンウィークが終わると寝れない緊張感とお花の入荷状態が気になります。震え、心配が尽きません。何処までも続くお母さん人気に答えるべく、自分の母に渡すお花だと思えば感謝を込める。自分出来る事は限られ、市場、スタッフ、配送業者みんなの忙しさの中終わっていく。非日常。

誕生日はいつまでもお祝いしよう！と思いませんか？何歳になってもこの日は特別で自身が一番それを感じていると思います。毎年やってく

御祝の区切りはないよ！



るからと思わないで、色々な行事や出来事を大切に嬉しいや喜ばしい気持ちをどんな形であれ伝えよう！とろちゃんは素直で全力で家族に伝えてくれますよ！ワンちゃんですけど！

焦りは禁物

月末にはいつも請求書を出す会社さんも多いと思います。3月末は普段より格段に業務が混み合い郵便局も行けず、切手を追加購入し・・・間違えて85円で封筒に貼って投函。ミスです！ご指摘頂いた会社様、黙って受け取って差額を払ってくれた会社様。対応は様々でしたが、本当にすみませんでした。何処に間違えて85円を出したかも件数も多く確認も出来ない状態でした。2度とこのような事は起こしませんが、人ですからミスが起こる事もあり得ます。事前に想定して対策を取り安心して頂けるようにスタッフ一同努めて参ります。すみませんでした。



とろちゃんお家